

2019年11月1日
株式会社ミサワホーム総合研究所
沖縄科学技術大学院大学

2019年度グッドデザイン賞特別賞
「グッドフォーカス賞 [防災・復興デザイン]」を受賞



株式会社ミサワホーム総合研究所（代表取締役社長 千原勝幸）と沖縄科学技術大学院大学（OIST）（学長 ピーター・グルース）は、2015年に締結した共同研究契約に基づき研究を重ねてきた地域・コミュニティプロジェクト「蒸暑地サステナブルアーキテクチャー」にて、2019年度グッドデザイン賞（主催 公益財団法人日本デザイン振興会）の「グッドデザイン・ベスト100」に選定され、さらにその中から選ばれる特別賞「グッドフォーカス賞 [防災・復興デザイン]」（日本デザイン振興会会長賞）を受賞しました。なお、受賞については、ミサワホーム株式会社（代表取締役社長執行役員 磯貝匡志）と株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所（代表取締役社長 北野宏明）を加えた4者での共同受賞となります。

「グッドデザイン・ベスト100」は2019年度グッドデザイン賞1,420点の中から選定され、独自性、提案性、審美性、完成度などの面において、今日のデザイン水準を高めるに相応しく、これからのモデルとなるデザイン100件に贈られるものです。

さらに「グッドデザイン・ベスト100」の中から、グッドデザイン大賞をはじめとする特別賞が選定され、この度、地域・コミュニティプロジェクト「蒸暑地サステナブルアーキテクチャー」は、6つある特別賞の中でも“自然災害への防備または自然災害による被害からの復興に寄与する優れたデザインとして特に認めるもの”として位置づけられる「グッドフォーカス賞 [防災・復興デザイン]」（日本デザイン振興会会長賞）」を受賞しました。

ミサワホーム総合研究所、OIST、ソニーコンピュータサイエンス研究所は、世界的な気候変動や温暖化に伴う日本国内の蒸暑地域化を背景に、エネルギーおよび水に関して持続可能（サステナブル）な導入および利用を可能にするシステムを開発・構築し、こうした地域においてエネルギー効率が良く、快適な生活を提供する住宅とコミュニティの開発を目的とした共同研究を進めてまいりました。その一環としてOIST敷地内に、快適性と環境負荷低減を両立する自立循環型住宅を2016年3月に建設し、これまで自立した生活を実現する先導的な技術の研究・実証を重ねてきました。

「蒸暑地サステナブルアーキテクチャー」は、エネルギーを創出し自立性の高い生活を持続可能にすることから、日本国内で近年増加する大規模自然災害に対しても、レジリエンスに優れたこれまでにない生活提案として期待されます。ミサワホームグループは、今回の「グッドフォーカス賞 [防災・復興デザイン]」受賞を契機に、さらなる安全安心で快適な住宅の開発に取り組んでいく考えです。

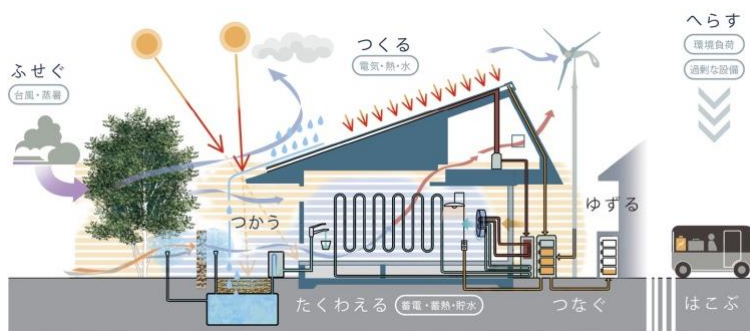
■地域・コミュニティプロジェクト「蒸暑地サステナブルアーキテクチャー」

エネルギーを創出する自立循環型住宅、および地域内の住宅間でエネルギーを相互補完する分散型インフラの構築により、電気や水などが未整備である蒸暑地域においてサステナブルかつ快適な生活の提供を目指すプロジェクトです。住宅は、太陽光・太陽熱・雨水の集積装置として役割を果たす屋根や、太陽熱利用除湿システム、壁・天井放射冷房システムなどを備えています。インフラは、直流自営線によるP2P電力融通システムにより近隣住宅間、電池交換型EVによる無配線マイクログリッドにより離れた建物間のエネルギー過不足の相互補完を実証しています。将来はインドネシアやフィリピンなどの島嶼開発途上国や過疎化地域、自然災害対策等での展開を目指しています。

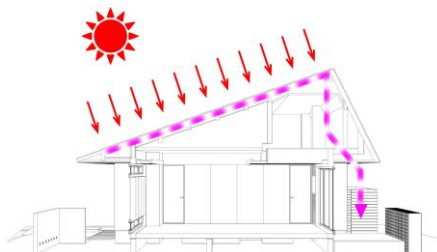
※関連ニュースリリース：https://www.misawa.co.jp/corporate/news_release/2016/0125/



外観



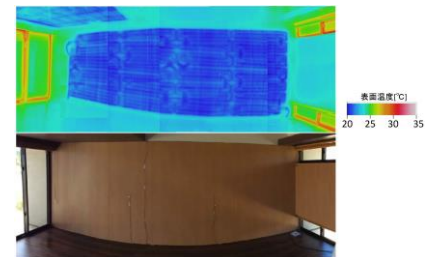
概念図



太陽光・太陽熱利用装置



雨水集積・循環利用装置



壁・天井放射冷房システム

■日本デザイン振興会コメント

受賞にあたって「スタンドアロン型住宅としてインフラから切り離された時、環境を選ばず暮らしを選択出来る事の意義を考えさせてくれた。移住先として検討しにくい土地やマイクロコミュニティでの生活を考える際、環境を選ばずに設置可能であることに優位性を感じる。厳しい環境下でどのような施工スピードが見込めるのか。オフグリッドとして一見、プロダクトや住宅に見えるが、有機的なコミュニティを生成することができるという点も含めて評価したい」とコメントをいただきました。

この件に関する問い合わせ先

ミサワホーム株式会社
経営企画部 コーポレートコミュニケーション課 大倉海人
TEL:03-3349-8088 (直通)
MAIL:Kaito_Okura@home.misawa.co.jp

沖縄科学技術大学院大学
広報テレビジョンメディアセクション 大久保知美
TEL:098-982-3447 (直通)
MAIL:tomomi.okubo@oist.jp